



世界中の様々な秋を 探しにいこう

「秋」それは様々なものを彩る季節です。
食欲、スポーツ、芸術、紅葉、実りそして音楽。
赤・オレンジ・黄のグラデーションが山粧う様は、
彩りのオーケストラのようです。
一歩外へ踏み出せば、心躍る世界が広がります。
世界中の様々な「秋」を探しにいきませんか。
私たちJTBは彩り豊かな季節を皆様にお楽しみいただけるよう、
旅のお手伝いをいたします。

JTB大阪第二事業部

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町 2-1-25 (JTBビル12階)
TEL.06(6260)0150(代) FAX.06(6260)0178
担当: 岡田 悠

CONTENTS

- 1 インタビュー アタッカ・カルテット
- 4 インタビュー アンサンブル・ミクスト
- 5 大阪国際室内楽フェスタ特集 ~あなたも審査員!
- 7 室内楽あるある vol.4 山澤洋之(打楽器集団「男群」)
- 9 楽器工房探訪 vol.4 こおろぎ社(マリンバ)
- 11 世界のアンサンブル事情 vol.4
ツムルフヤグ・オチルバト(モリンホール・カルテット/馬頭琴)
- 13 世界の民族楽器 音の出し方(似た者同士) vol.4
- 15 世界のコンクール ~ミュンヘン国際音楽コンクール~
- 17 イラスト・コミック 夏の思い出~アメリカの音楽祭



© David Goddard

過去と現代の作曲家の対話を求めて
グラミー賞に輝く弦楽四重奏団

第7回大阪国際室内楽コンクール第1部門優勝

アタッカ・クアルテット インタビュー

インタビュー：後藤菜穂子

ATTACCA QUARTET Interview

コロナ禍での公演延期を経てようやく実現した、「トップ・アンサンブル・シリーズ」のアタッカ・クアルテット公演（2022年9月12日、あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール）。ツアー途中にヴァイオリン奏者のネイサン・シュラムが家族のご不幸のために帰国を余儀なくされたが、牧野葵美という頼もしい代役を得て、独自のサウンドワールドで聴衆を興奮させた。公演に先立ち、3人のメンバーに話をうかがった。



アンドリュウ・イー

——第7回大阪国際室内楽コンクールに参加された時の思い出をお聞かせください。

アンドリュウ・イー（以下、**アンドリュウ**）
2011年、震災からまだ間もない頃だったことをよく覚えています。参加を取りやめた団体もあり、どこに行っても「来てくれてありがとう」と言われたことが印象に残っています。会場にもとても重苦しい雰囲気が出ていました。私たちは本選でベートーヴェンの後期の弦楽四重奏曲を演奏したのですが、聴衆の皆さんの思いが私たちの演奏にも浸透してくれたように思えました。音楽作品というのは、音楽家と聴衆のあいだに存在するのだということ、強く感じた体験でした。

エイミー・シュローダー（以下、**エイミー**）
そのとき弾いたのはベートーヴェンの弦楽四重奏曲作品132でした。私たちはコンクールの前にこの曲を仕上げようと、事前に何回か演奏会でも弾いたのですが、みんなまだ若く、こうしたタイプの曲に取り組むの



エイミー・シュローダー

が初めてだったので、満足のいく演奏ができていませんでした。日本に着いてからも時差ボケやら予選やらで、仮に本選に進めたとしても本当に弾けるのだろうかと不安でした。ところが本番の舞台の上で、私たち4人と聴衆のあいだで何かが起こり、すべてがうまくいったのでした。こうした奇跡はコンサートでは起きて、コンクールの舞台で可能だとは思っていませんでした。そしてこの体験を通じて、私たちは初めてベートーヴェンを真に身近に感じられるようになったのです。

アンドリュウ 私たちはたくさんさんの弦楽四重奏のコンクールを受けましたが、正直、どれもとてもつらい体験でした。でも、コンクールのために曲を入念に準備して完璧に仕上げたことで、私たちは世界の舞台への通行証を手に入れたともいえるのです。特に大阪は、グループにとって決定的な何



ドメニク・サレリ

かが起きた特別な大会でした。その意味ではコンクールに出場したことはかけがえない体験になりました。

——大阪での優勝によって、どんな道が開かれましたか？

エイミー 第一に、たくさんさんのクアルテットの仲間と知り合うことができましたし、また尊敬する審査員の方々とお話をする機会もいただきました。そして何よりも日本とのつながりができて、これまでに何度もこの素晴らしい国を訪れることができ、本当に嬉しく思っています。このコンクールは米国でもたいへん高く評価されていますので、優勝をきっかけに母国でもさまざまな演奏の機会を得ることができ、活動の場が広がりました。

——ドメニクさんは2020年2月にアタッカ・クアルテットに

第2ヴァイオリン奏者として加わりました。グループとの出会いは？

ドメニク・サレリ（以下、**ドメニク**）
私がアタッカ・クアルテットに初めて出会ったのは2007年、コネティカットのノーフォーク室内楽祭でのことでした。当時、私自身も別の弦楽四重奏団のメンバーとして参加していたのですが、アタッカの演奏を聴いて本当に驚嘆しました。その時に彼らが演奏していたのはバルトークの弦楽四重奏曲第4番だったので、それまで彼らのようなサウンドを聴いたことがなかったのです。型にはまらず、その場への深い理解と、インスピレーションと自発性に満ちた演奏でした。私はその時にクアルテットで弾くことの意義をあらためて認識したのです。それから10年以上がたち、このグループに加わることができて本当に光栄に思います。

——アタッカ・クアルテットは、いわゆるヨーロッパ・スタイルの伝統的な弦楽四重奏団とは一線を画した活動を展開してきました。結成当初からそうした構想を持っていたのでしょうか？

アンドリュウ 私たちがグループを結成した2003年と2022年では弦楽四重奏を取り巻く環境は驚くほど変わりました。20年前、有名な弦楽四重奏団といえはジュリアードやエマーソンら、両手で数え

ザ・フェニックスホールに集う トップアンサンブルシリーズ2022-2023

アンサンブル・ミクスト(木管五重奏)

Welcome back to OSAKA!



インタビューには、対面、オンラインでメンバー全員が参加

アンサンブル・ミクストは東京藝術大学で2年生の頃に結成しました。私たちは「練習魔」と言われるほど練習が好きだったので、金管楽器であるホルンには負担が大きかった。一時期はホルンが入らない木管四重奏で活動していましたが、「やっぱり五重奏をやりたい!」と思い、「2学年後輩に優秀なホルンがいる」ってなって、即スカウト。それで今のメンバーになりました。始めたのが2003年ですから、間もなく20年ですね。

とても熱心に木管五重奏に取り組まれている先輩に触発されて、2011年の大阪国際室内楽コンクールを受けました。実はコンクールの時は、まだ本多がドイツに留学中だったんですよ。だから残りの4人で練習した録音を本多に送って、コンクールに向けた調整をしていた。Zoomの無い時代に良く遠隔練習出来たなって(笑)

コンクールの課題曲に取り組むのは大変ですが、むしろ「こんなに沢山の木管五重奏に取り組めるって嬉しかったです。コンクールで上手くいくときは、結果の事を考えていない時が多いんです。目の前の楽曲に丁寧に取り組んで雑念が無い時の方が上手くいく。最終的に3位を頂いて、多くの先生から「絶対つづけた方がよいよ!」と言われて、今まで継続することが出来ました。また、大阪のコンクールでは金管五重奏やサクソス四重奏など、他の編成の演奏がとても参考になった思い出があります。

12月のコンサートではミクストラしきが良く伝わるプログラムを考えました。ライヒャとヴィラ・ロボスは、コンクールで掘り下げた曲です。コンクールから11年経ち、進化したサウンドをお届けできたらと思います。私たちはモーツァルトの音楽も好きでCDも出しています。今回はそのCDからセレナード第12番と、新しく劇場支配人序曲を本多が編曲しています。あとは、現在プロコフィエフの作品のCDを制作しているのですが、そこに収録している「ロメオとジュリエット」から何曲か抜粋。また、目の目を見ていない作品の紹介も大切にしているので、ミヨ一の「2つのスケッチ」を取り上げます。

大阪のコンクールから今までの歩み、様々な編曲や新作への取り組みなど、ミクストの要素が存分に詰まった構成です。



2022.12/11(日)15:00開演
 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
 全席指定 ¥4,500
 ザ・フェニックスホール友の会 ¥4,050 / 学生 ¥1,500 **好評発売中!**
 出演 アンサンブル・ミクスト
 梶川真歩(フルート)、本多啓佑(オーボエ)、尾上昌弘(クラリネット)
 嵯峨郁恵(ホルン)、中田小弥香(ファゴット)
 (チケットに関するお問合せ) ザ・フェニックスホール チケットセンター 06-6363-7999
 (平日10:00~17:00 / 土日祝 休業)

Program
 モーツァルト:「劇場支配人」序曲(本多啓佑 編曲)
 ミヨ一: 木管五重奏のための2つのスケッチ
 モーツァルト: セレナード第12番 K.388
 プロコフィエフ:「ロメオとジュリエット」より
 ライヒャ: 木管五重奏曲 二長調 op.91-3
 ヴィラ・ロボス: ショーロの形式による五重奏曲
 (公演に関するお問合せ) 公益財団法人日本室内楽振興財団 06-6947-2184



コンサートに向けて練習中の曲の楽譜にはびっちり書き込みがあった

実はコンクール以降大阪で演奏するのは初めてなんです。私たちのターニングポイントになった大阪に戻ってこられるのは本当に楽しみです。昔の自分たちが積み重ねてきたものを思い出すような、特別な感情が入る公演になると感じています。この11年で成長した私たちのサウンドをお届けできるよう準備を進めています。ぜひホールにお越しください。



ドメニク 今では、特にヨーロッパに招かれる時には、アメリカの音楽を演奏してほしーとリクエストされることが多いです。たとえば昨秋、ドイツのテューリンゲン・パツハ週間に招かれ、ヴァイマルの歴史的な会場でオール・キャロライン・ショウのプログラムを演奏しました。どのように受け止められるか不安でしたが、拍手が鳴り止まず、3曲もアンコールを弾きました。

その一方で、今回の日本での公演のように、ベートーヴェンとポール・ウィアンコやショウの作品を並べて演奏すると、過去と現代の作曲家たちとのあいだに對話が生じておもしろいと思います。私たちにとてもベートーヴェンの「ハーブ」の次に音による壮大なドラマともいえるウィアンコの「弁慶の立ち往生」を——作品の舞台である日本で——体験できたのは本当にすばらしいことでした。

私自身は今初めて日本を訪れましたが、日本の聴衆はどこよりもあたたかく教養があり、期待に満ちた表情で聴いてくださいました。他の国とくらべるわけではありませんが、日本の聴衆のみなさんは音楽と真剣に向き合っていると感じ、そうした方々のために演奏するのはとても嬉しいことでした。

——2020年にはキャロライン・ショウの室内楽曲のアルバム「Orange」でグラミー賞を受賞しました。また今年9月にはショウ作品の2枚目のアルバム「Evergreen」もリリースされます。彼女の音楽との出会いは?

エイミー キャロラインの音楽との出会いは



アタッカ・カルテット(弦楽四重奏) Attacca Quartet

2003年に結成されたアタッカ・カルテットは、2020年にグラミー賞(最優秀室内楽)を受賞し、アメリカで最も注目を集める弦楽四重奏団。古典派から現代音楽まで分野にとらわれず、歴史的奏法および解釈を重んじる演奏を取り入れ、常に新しい指針を求めて進化し続けている。第7回大阪国際室内楽コンクール優勝、第6回メルボルン国際室内楽コンクール第3位およびABCクラシックFM視聴者賞受賞など受賞歴多数。ジュリアード・カルテットのアシスタント、メトロポリタン美術館のレジデント、テキサス州立大学のレジデントを歴任。これまでにジョン・アダムスの弦楽四重奏曲全集、ハイドン曲集などを録音。2021年にはソニー・クラシカルと専属契約を結び、弦楽四重奏の可能性を追求する新たな挑戦に取り組んでいる。アメリカ国内だけでなく、ヨーロッパ、南米、アジア、オーストラリアで精力的に演奏活動を展開しており、2014年にはアダムス作曲の弦楽四重奏協奏曲「アブソルート・ジェスト」のスペイン初演で好評を博した。コロナ禍でもパンフセンター、オースティン室内楽センター、シュチェチン・フィル(ポーランド)などとデジタル配信の展開を進め、「アタッカ」(音楽用語で、楽章間を休みなく演奏し続けること)という名にふさわしく多忙な日々を送っている。

はコロラドで聴いた彼女の音楽グループの演奏で、私もアンドリュースも涙で顔がぐしゃぐしゃになりました。本当に美しく、しかもこのようなライブ演奏をこれまで聴いたことがなかったのです。そしてこの時、私たちは彼女の曲をすべて演奏しようと思ったのでした——それまでハイドンやベートーヴェンの全曲ツィクルスに取り組んできたのと同じように。私たちにとても現代作曲家の全曲演奏はこれが初めてでした。

アンドリュース 9月にリリースされたショウ作品の2枚目のアルバム「Evergreen」は2020年のパンデミックの最中にレコー

ディングされたものです。また検査もワクチンも出回っていない頃で、みんな不安の中でレコーディングしました——特にキャロラインはヴォーカルで参加していましたから。

私たちはコロナ禍に5枚のアルバムを制作しました。ちょうどドメニクが加わった直後にパンデミックになってしまったわけですが、その意味では現在の形でのアタッカ・カルテットのサウンドはレコーディング・スタジオにおいて磨き上げてきたものと言ってもよいかもしれません。こうした時期を経て、ようやく4人揃って世界中の舞台で演奏できることを待ち遠しく思っています。

これでどうだ!? 富山&三重&大阪全制覇ツアー

1次ラウンドからファイナルまで、3都市制覇してみよう!
こうしたら行ける!?大阪発着の弾丸ツアーを考えてみました!

by 奏編集部

5/12 (金)	大阪 13:42 (JR特急サンダーバード25号) 16:29 金沢 18:51 (新幹線はくたか572号) 17:04 新高岡 17:14 (JR) 17:17 高岡着
編集部コメント ★お仕事の場合は、18:00頃のサンダーバードに乗って、金沢泊もいいですね!	
5/13 (土)	高岡 9:43 (JR城端線) 9:46 越中中川 (徒歩1分) 10:00 富山県高岡文化ホール(1次ラウンド審査) ~終了 15:30頃 (タクシー移動) 新高岡 16:27 新高岡 (新幹線つるぎ732号) 16:40 金沢 16:48 (特急しらさぎ) 19:46 名古屋 20:00 (近鉄特急) 20:44 津着
5/14 (日)	津 9:30頃 (バス、約5分) 10:00 三重県文化会館(審査)~終了 15:30頃 (バス、約5分) 津 16:21 (近鉄特急) 17:52 大阪難波着
5/17 (水)	10:00 住友生命いずみホール(セミファイナル審査) 15:00 ファイナル審査 17:30 結果発表

※注意：9月26日時点の情報を基に、奏編集部が時刻表だけを見て作成した旅程です。実際に旅に行く際は、体力と相談しながら改めてお調べください。

大阪国際室内楽フェスタ2023 一般審査員募集!

世界各国の優れたアンサンブルを発掘する審査に参加いただける、審査員を公募いたします。
あなたが選んだ団体が、2025年のグランプリ・コンサートであなたの地元を訪れる、かも?



【日程・会場】

- 1次ラウンド(各会場100名募集)
2023. 5/13(土) 10:00-15:30 富山県高岡文化ホール(富山県高岡市)
5/14(日) 10:00-15:30 三重県文化会館(三重県津市)
各会場6団体を審査
- セミファイナル/ファイナル(200名募集)
2023.5/17(水) 9:30-17:30 住友生命いずみホール(大阪府大阪市)
※オンライン審査員は10:00-12:30
1次ラウンドで選抜された6団体を審査

【応募資格】 ・審査日時点で18歳以上の方、職業や音楽歴は問いません。
・1日のすべて(オンライン審査員はセミファイナルのみ)演奏を聴くことが出来、審査員としてマナーを守っていただける方。

【特典】 各日審査終了後、日本室内楽振興財団よりQUOカード2000円分を進呈いたします。
オンライン審査員はQUOカード1000円分を進呈します。

【応募方法】 必要事項をご記入の上、以下の方法でお申込みください。
WEBフォーム・FAX・はがき
①名前・フリガナ ②年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号
⑤FAXまたはE-mail ⑥参加希望審査日程
先行応募メチ: 12月26日(月)必着

※お申込みいただいた方は原則日本室内楽振興財団無料DM会員「奏メンバーズ」に登録させていただきます。登録を希望しない場合は、その旨記載をお願いいたします。

【ご応募・お問合せ】

公益財団法人日本室内楽振興財団
TEL: 06-6947-2184 FAX: 06-6947-2198
E-mail: PR@jcmf.or.jp

詳細は、日本室内楽振興財団ウェブサイトをご覧ください。



審査員経験者の声



瀬屋さん
フェスタ審査員経験者

個性豊かな人達の音楽に触れますと満足この上なく、まして自分の投票した音楽家が入賞すると特別です。
審査はとても悩みますが、一日中素晴らしい音楽に包まれる幸福に浸ることが出来ます。

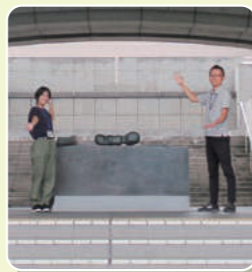
開催会場からメッセージ



富山県高岡文化ホール
担当: 坊さん、岡田さん

富山県高岡市へは、サンダーバードと北陸新幹線で約3時間。一日で、様々な国の音楽、楽器、編成の演奏が聴けますので是非ご応募ください!そして審査に旅行に、ぜひ富山にお越しください!

おすすめのお店:
うどん「吉宗」、ハンバーグ「キャセロール」



三重県文化会館
担当: 南谷さん、黒田さん

三重県文化会館は、大阪から近鉄特急で約1時間半、三重県津市にあります。毎年開催しているグランプリコンサートには、あなたの選んだ団体が出演するかもしれません!自慢のホールの響きと、おいしい三重の味覚を楽しみに、ぜひ三重にお越しください!

おすすめのお店:
うなぎ「はし屋」、天むす「千寿」

世界でも類を見ない室内楽の祭典!

大阪国際室内楽フェスタ2023 「審査員はアナタだ!!」

柳 圭史 (大阪国際室内楽フェスタ プロデューサー)

クラシックも民族音楽も—世界の室内楽の祭典

大阪国際室内楽フェスタ(以下フェスタ)は、第1~3回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ名誉芸術監督のユーディ・メニューイン卿による発案で始まった、「室内楽の祭典」。クラシック音楽に限らず、世界各国の伝統音楽・民族音楽をも対象なので、世界中から様々な演奏団体が参加します。2~6名までのアンサンブルで、国籍や年齢の制限もなく、曲も編成も自由です。つまり、弦楽四重奏でも、民族音楽アンサンブルでも参加できます。いわばフェスタは、室内楽の異種格闘技戦と言っても良いかもしれません。そして最大の特徴は、お客様が審査員になれるのです!

※ルール上、ピアノの内部を操作するような特殊奏法、電気的に音量を増幅するもの、歌は禁止です。



- ◎メニューイン金賞…賞金150万円&日本ツアー(グランプリ・コンサート)
- ◎銀賞…賞金80万円
- ◎銅賞…賞金50万円
- ◎フォークロア特別賞…賞金20万円
セミファイナル出場団体に特に伝統音楽・民族音楽に優れた団体に贈られる。
- ◎オンライン聴衆賞…賞金10万円
セミファイナルを対象に、WEB上で審査を行います。

アナタが審査員!~会場でもオンラインでも!

フェスタが「世界に類を見ない」と言われる一番の理由は、一般の聴衆が選ぶ聴衆賞は数多くあれど、一般の聴衆が優勝者まで選んでしまうというものは無いからでしょう!

数多くの優秀な演奏団体の応募があっても、音楽をこよなく愛するあなたは審査員がいなければフェスタは成立しないということです。審査基準はただ一つ「あなたは審査員が感動したかどうか」。そう、読者の皆様も審査員になれるんです!

富山・三重・大阪の三会場制覇も大歓迎!きっと、素晴らしい音楽の旅となるでしょう。

本当は会場で審査に参加したいけど、遠くて行けないわ…という方、今回新設された「オンライン聴衆賞」の審査員になってみませんか?動画視聴ができる環境があれば、どこからでも参加することができます!

「大阪国際室内楽フェスタ2023」、きっとあなたを満足させる音楽との出会いが待っています。

皆様のご応募、心よりお待ちしております。



審査方法

予備審査

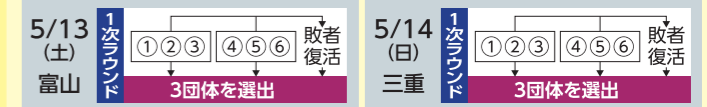
フェスタの予備審査は、応募の際に送られてきた動画をもとに、プロの音楽家を中心に構成されるフェスタ予備審査員が審査、参加する12団体を決定します。

初の大阪以外での開催!

1次ラウンド

5/13(土)富山県高岡文化ホール
5/14(日)三重県文化会館

1次ラウンドは、富山と三重の会場に6団体ずつ参加。6団体を2つのブロックに分け、各ブロック3組で票を競います。各ブロックで最も得票数を取った2団体と、各会場の敗者復活の1団体の計3団体がセミファイナルへ。富山・三重会場の2会場で計6団体が、大阪のセミファイナルへ進出します。



セミファイナル&ファイナルラウンド

5/17(水)住友生命いずみホール(大阪)

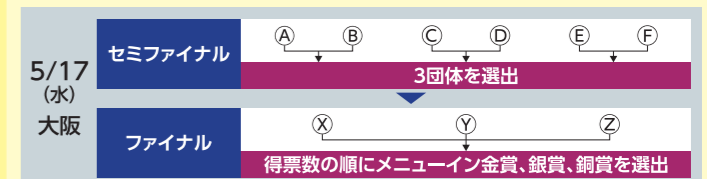
ファイナルラウンドは、セミファイナルラウンド終了後、同じ日に行われます。

セミファイナルラウンド:

1次ラウンドを勝ち上がった6団体を、2団体ずつ3ブロックに分けて競い、計3団体がファイナルラウンドへ進出します。

ファイナルラウンド:

セミファイナルを勝ち上がった3団体の中で、最も得票数の多かった団体が順に、メニューイン金賞、銀賞、銅賞を受賞します。



Q

男群の特徴、魅力は？

A

世界中の多種多様な打楽器を駆使し、豪快な太鼓アンサンブルから繊細なマリンバカルテットまで自在に演奏できる団体です。演奏会で使用する楽器の種類は少なくとも数十種。大阪国際室内楽フェスタ参加時は、100種類以上だったと思います。ステージ上の楽器からどんな音が出てくるのかという打楽器の“わくわく”を楽しんでほしいです。

また、私も含め作曲をするメンバーもいるので、男群オリジナルの演奏ができることも魅力です。自由な発想で生み出される楽曲とメンバーの個性あふれる演奏の化学反応を、書き手として、演奏者として楽しんでいます。同じ大学出身ですが、先輩後輩という感じはあまりなく、いろいろなことをみんなで協議できる信頼関係があります。

Q

さまざまなアンサンブルにおける打楽器奏者の役割、また、男群におけるリーダー山澤さんの役割は？

A

打楽器は料理でいうスパイスや調味料にあたると思います。素材を活かすことも台無しにすることも、洋風にも和風にもできる。じゃがいもと人参と玉ねぎを入れて、肉じゃがにもカレーにもシチューにもできるというような。ただ、この味付けを良い塩梅にするのは、簡単ではありません。それだけに、おいしく聴いてもらえる絶妙な配合が決まった時は、楽しい嬉しいですね。

リーダーの役割……難しいですね。演奏ではメロディのパートを担当することが多いので、合図を出し、アンサンブルをまとめる役割をしています。ホールごとに演奏のバランスをチェックすることもあります。ただ、各人がアンサンブルで必要な役割を果たしているという意味では、みんながリーダーです。

最年長という立場からなんとなくメンバーのまとめ役をしています。書き出してみるとあまりリーダーらしいことはしていませんね(笑)。

Q

打楽器奏者ならではのよくある出来事やハプニング、喜びや難しさは？

A

楽器の多さと巨大さが大変です。分解して車に積み、ホールに搬入したら組み立ててリハーサルと本番、終演後にはまた分解して車に積み、自宅で降ろして組み立てる。引っ越し業者レベルです。そのため、忘れ物が怖いのが“打楽器奏者あるある”ですね。打楽器奏者ならみんな一度はやっているのではないのでしょうか。

打楽器アンサンブルは迫力ある演奏も得意ですが、小さな音で創り上げる世界も得意です。ホールの響きと我々のアンサンブルがうまく合致して、打楽器にしか作り出せないミクロな世界をお客さんと共有できたときは、思わずニヤリとしてしまいます。

一方で、ホールや天候(温度湿度)に左右されるところは難しいです。状況に合わせて、演奏やマレットを変えて調整します。ただ、そこが楽しくて打楽器をやっているところもあります。



Q

打楽器奏者ならではの性格、行動パターンなどはありますか？

A

大きな楽器ばかりで人と一緒に運ぶことが多いので、気さくな人が多いと思います。一度仕事で一緒すればもうみんな仲間、というような。あと、リハーサルでも本番でも、なぜかいつも食べ物を持っている気がします。どこからともなく出てくるお菓子は、たいてい打楽器奏者のものですね。

また、オーケストラや吹奏楽だと一人で複数の楽器を担当したり、一つの楽譜に書かれていることを分担したりするためか、練習から飲み会まで、段取り上手が多いと思います。あと、楽器が多いこともあり、整理整頓をしますと徹底的にやりがちです。ただそれはスイッチが入った時だけで、普段は実用的な片付けをしている人が多い気がします。

Q

打楽器奏者ならではの「あるある」をお聞かせください。

A

100円均一やホームセンターでは、気になったものは叩いて音を確認します。また、なければ作るという考えがあるので、こういう音が欲しいと思えば自作します。

大学院生時代、「木の板」という楽器指定(しかも5音)があつて悩んでいたとき、鍋敷き、小さなまな板、おしゃべりな木皿を偶然発見し、買い込んだこともあります。それは今も「木の板」という楽器として使っています。

仏具屋さんも宝庫です。先日もたくさんのおりんを試奏して購入しました。そのお店にはご迷惑をおかけしました。

良い音がするものに出会うと「何かに使えるかも!」と思ってしまいます。最近は、自宅の炊飯器の釜が良い音で、使えるかも!と思いました。ご飯が炊けなくなるのでまだ楽器にはしていませんが、男群メンバーの楽器を見ると、それは何?というものもあり、打楽器の奥深さを知ります。

増えていく楽器で部屋や倉庫が圧迫されていくのを喜びと感じるような、収集癖のある人が多いですね。珍しい楽器を使う機会があると、待ってました!と倉庫から引っ張り出すわけですが、そんなことはめったになく、「あれどこにしまったけな?」と探すこともたびたびです。

Hiroyuki Yamazawa (percussion)



男群 山澤洋之さん(打楽器)



Profile

山澤洋之(男群)

洗足学園音楽大学・大学院をそれぞれ首席で卒業・修了。第12回日本クラシック音楽コンクールグランプリ。(打楽器初)打楽器アンサンブル、吹奏楽、マーチング、弦楽合奏など多数の作曲作品が発表されている。特に主な出版作品である「花回廊/風龍」などの打楽器アンサンブル作品は日本国内のみならず台湾、ヨーロッパ、アメリカなど各地で演奏されている。打楽器集団「男群」主宰。第8回大阪国際室内楽フェスタ銅賞。広島文化学園大学学芸学部音楽学科准教授。洗足学園音楽大学・大学院講師。

室内楽奏者
あるある

室内楽に登場するさまざまな楽器の奏者には、その楽器ならではのキャラクター、アンサンブル内での役割、よく起きる出来事がある!?

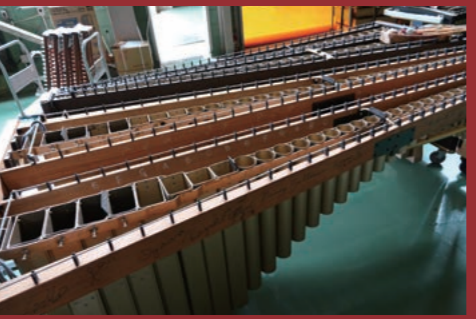


©Nikolaj Lund 打楽器集団 男群(おくん)



株式会社 こおろぎ社

〒916-0144 福井県丹生郡越前町佐々生38-9-1
http://www.korogi.co.jp/



こんにちは
前川です!

「こおろぎ社は、マリンバやシロフォンなどの鍵盤打楽器を製作する日本有数のメーカーだ。いらっしゃるのではないだろうか。まあるこやなぎは、サンダーボードに乗って福井県越前町にあるこおろぎ社を訪ねた。出迎えてくれたのは、こおろぎ社の営業担当、前川貴志さんだ。」



戦後の教育楽器から始まった、日本の鍵盤打楽器

まあるこやなぎ こんにちは!
前川さん ようこそ、こおろぎ社へ!
こおろぎ社は、福井県越前町の田畑が広がる自然豊かなエリアにある。
前川さん こおろぎ社は戦後間もない1949年に福井県鯖江市で創業、音楽教育用卓上木琴の製作から始まりました。当時は、今のようにチューナーもなかったので、

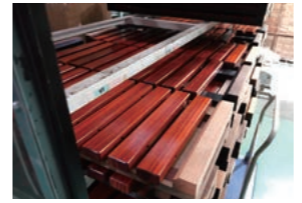
耳の感覚だけを頼りに音を作っていました。かわいらしい音がするでしょう。と言いながら、創業当時につづっていた貴重な木琴を見せてくださった。ピアノで言う黒鍵がない、シンプルな卓上木琴である。
前川さん マリンバはアメリカから入ってきた楽器です。1960年代にはマリンバ奏者の安倍圭子さんを中心とした日本人

によって改良され、音域が広がりました。現在は5オクターブ程度のものが主流となっています。
なるほど!マリンバの進化に日本人がかかわっていたとはなんだかうれしい。
やなぎ マリンバを作っているところを見せて下さい!
前川さん どうぞ!こちらが工房です。

楽器作りへのこだわり、木、そして機械も自社製!

前川さん マリンバは、鍵盤に主にローズウッドという堅い木を使用しています。原産地はメキシコ。こおろぎ社も木材の輸入のために現地に1名スタッフを派遣しているんです。
近年は、世界的にローズウッドの需要が高くなり、時絶減を危惧されたほどである。そして現在では、ワシントン条約で輸出先を厳

格に管理されている。
前川さん メキシコからの輸出が厳しくなっている、このままだと今後材料が変わることになるかもしれません。でも、当社にはあと20〜30年分のストックはありますよ!
実際に材料となる木を保管する倉庫には、大量の木材が保管されていた。
前川さん 輸入してすぐには使うことができません。まずは5年以上の自然乾燥。倉庫の中でも定期的に位置を変えて乾燥ムラが無いように保管しています。外気にさらすこともありません。最終的には4か月間人工乾燥装置に入れ、それから音板へと



加工していきます。
まあるこやなぎ 音板を加工する前も、大変な作業なんです。
音は、木の長さ以外にも、音板の裏面を削ることによって音程を整えていく。その音だけでなく、倍音(つの音に含まれる様々な音)が美しく豊かに響くよう、職人の耳で確認しながら手作業で仕上げていくのだ。
前川さん できるだけ、音板に適した太くまっすぐな木を厳選しています。木目を見るとよくわかります。そして、特に最上級モデルは同じ木から出来たものを使用するようにしています。ただし、音板としての形になっても個々のばらつきが出てしまう

と、本当に大変な労力がかかりますので、演奏家が一人選ぶのは困難です。1鍵だけ好みの音色を選んでもらい、その音に合わせて職人が音色を選んで整えています。上位モデルでは、共鳴管の色を好みの色にしたリ、名入れもできるんですよ。
音色だけでなく、並ぶ鍵盤に違和感が無いように、木の色、木目まで合わせていき、5オクターブの音板が出来上がるのは、まさに

ので、音板同士のバランスを合わせることに重要となります。
数十の完成した音板を検品して、評価を行っていく。音板1つ1つの差は、職人の鋭い感覚を以つてのみ判断しうる繊細さである。しかしそれが5オクターブ積み重なることで、大きく音色に影響してくるのだ。
驚いたのは、加工するための多くの機械が自社製だということ!技術の流出を防ぎ、現場の要望に柔軟に対応するため、社内スタッフに機械のエンジニアがいるのだ。ここにも、楽器作りへのこだわりが感じられる。



なぜ「聞く」よりも「感じる」が大切なのか?

やなぎ ところで...マリンバって、おいしくらで買えるんでしょうか?
前川さん コンサートで使うマリンバは、中学・高校の吹奏楽部で使うような30万円台のものから、プロの音楽家が使う最上位モデルだと、250万円を超えます。
まあるこやなぎ おお〜車が買えてしまうお値段ですね。カスタマイズはできるんですか?
前川さん 鍵盤一つ一つ自分で選ぶことになる

もあったので、その後の製品の改良にも役立つのではないかと考えています。
まあるこやなぎ 社員の皆様は、やっぱり音楽大学を出ている方が多いんでしょうか?
前川さん この工房で働いている社員は21名、音楽大学卒業した者は1名だけです。必ずしも音楽的素養が必要というわけでは

奇跡。最上位モデルの注文は完成までに3ヶ月以上かかるという。
前川さん は、丹精込めて作っている、演奏者には愛情持って、大切に使う!と伝えて欲しい、ということでした。そろそろMYマリンバが欲しいと思ってるあなた!今すぐこおろぎ社にお電話を!



楽器作りに携わる職人

前川さん 私、もともととは商社で働いていました。こおろぎ社は大切な取引先のひとつでした。その後、こおろぎ社から温かいお誘いを受けて、私の家族の出身地でもある福井県に本社がある事もあり、こおろぎ社の一員となりました。社員となつてからは、私のそれまでの商社での経験、そして音感

ありません。「正直で嘘のない方」、ぜひこおろぎ社で働いていただけると嬉しいです!
前川さん、こおろぎ社の皆さま、ありがとうございます!
読者の皆様、コンサートでマリンバを聴く際は、ぜひ音板にも注目してみてくださいね!



世界の音楽において、息のあったアンサンブルは
どんなふうにも生み出されるのか。スペシャリストに聞く！



〈馬頭琴奏者〉
ツムルフヤグ・オチルバトさん

ツムルフヤグ・オチルバトさんは、
11歳から音楽学校で馬頭琴を学び、
現在はモンゴルの民族音楽演奏集団
「モンゴル国立馬頭琴交響楽団」で活動する。
2017年の大阪国際室内楽フェスタには、
楽団内の4名の馬頭琴奏者により結成される
モリホールワルテットとして参加している。

聞き手 高坂はる香(音楽ライター)



2017年大阪国際室内楽コンクール&フェスタより

馬頭琴の音は、
人の心に直接響く

―馬頭琴とはどんな楽器ですか？

馬頭琴の起源についてはいろいろ
な伝説がありますが、モンゴル人
が、まるで友達のように馬をとて
も大事にすることから、馬の頭の
形を持つ楽器を作ったといわれ
ています。

昔はポディには動物の皮が使わ
れていましたが、最近では木材の
が主流です。私たちは皮と木材の
楽器、両方を使い分けています。皮
の馬頭琴ではモンゴルの伝統的な
長唄を演奏し、木材の馬頭琴では、
ヨーロッパ由来の音楽を演奏する
ことが多いです。ヴァイオリンや

チェロのレパトリーはほとんど
全て演奏できます。

馬頭琴には、基本的に、黒い馬の
尻尾で作られた2本の弦が張られ
ています。その特別な音色で民族
的な音楽を奏でたり、馬の走りを
表現したりするからこそ、人の心
に直接響くのです。

―弦や弓が馬の尻尾だと、気温や
湿度の影響をうけて調弦が大変な
のではないかと思いますか？

そうですね、湿度によって随分変
化します。モンゴルは湿度が低い
のであまり問題ないのですが、日本や
韓国など季節によって湿度の高い
国で演奏するときは大変です。そ
のため海外公演に出かける際は、

冬場なら馬の尻尾の弦の楽器を、
夏など湿度の高い季節なら人工の
弦の楽器を持つていくようにして
います。

もちろん、馬の尻尾の楽器を使っ
たほうが、より気持ちの伝わる、ス
ピリチュアルな本物の音を奏でる
ことのできるのですが、時と場合
によって使い分けています。

―馬頭琴は、モンゴルの方にとつて
どのくらい親しまれているのでし
ょうか？

モンゴル人は、乗馬と馬頭
琴ができて一人前”という話を聞ん
だことがあります。それは本当
ですか？

その通りです！首都のウラン
バートルではマンションに暮らして
いる人が多いですが、田舎の人たち
に残っていることは？

私たちにとつて初めての国際
コンクールでしたので、参加するこ
とができてとにかく嬉しかったです。
また、演奏を聴衆のみならず、こ
とも喜んでくれたことも、心地
よかったです。日本人は昔から馬頭
琴という楽器をご存じだといいま
すし、また、見た目が少しモンゴル
人と似ていますから、心強かったです
ね。

アンサンブルに必要なのは、
互いの心を理解すること

―モリホール・クアルテットはどの
ように結成されたのですか？

50年ほど前、ヨーロッパの弦楽四
重奏団からインスピレーションを
得て、3人の馬頭琴と1人のバス馬
頭琴による四重奏団が結成されま
した。モンゴルの作曲家による作品
はもちろん、ヨーロッパの音楽も演
奏します。

―伝統的なアンサンブルは、どの
ような編成のものが多いのでし
ょうか？

ホーミーと馬頭琴は、モンゴルの
民族舞踊と一緒に演奏されることが
多いです。ホーミーはモンゴルの



遊牧民に由来するもので、さまざ
まな種類があります。遊牧民が感
情を伝え、時にはストレス発散のた
めに歌っているといわれています。

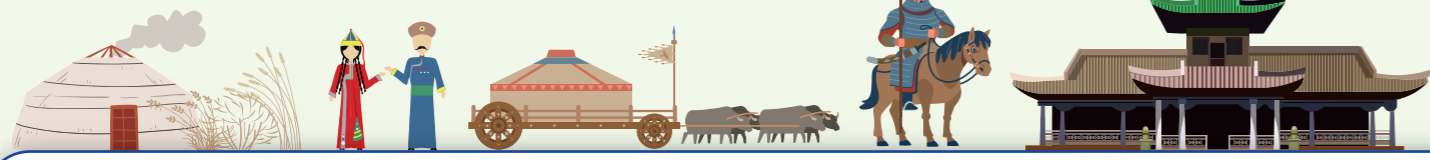
―クアルテットの第二奏者として、
良いアンサンブルのために心がけて
いることはありますか？

―重要なものは、練習です。時間
をかけて練習することによりお互
いの心を理解し、どんなときに誰が
どんな表現をするかを尊重するこ
とで、より良いアンサンブルが生ま
れます。演奏中以外の時間も、なに
か心配なことはないか話をすること、
けんかをしないことが大切です。

―大阪国際室内楽フェスタに参
加した際の思い出で、もっとも記憶



民族音楽からロックまでいろ
んな種類の音楽を演奏できます
が、私が一番好きなレパトリーは、
モンゴルの作曲家、ゾンドイン・ハ
ンガル氏の「馬頭琴協奏曲」です。最
近、ドイツやロシアなどの大きなス
テージで演奏する機会があったの
ですが、弾くたびにさまざまな感
情が心に生まれる作品です。



音の出し方

ピアノ(打弦楽器)と並んで、特に楽器の習い事で最初はなかなか音が出ない、音程が取れないだろうか? 苦労をした方もいるのでは。弦を弓で擦る楽器は驚くほどたくさん種類がある。

片桐卓也(音楽ライター)



一番大きく、4弦の擦弦楽器。

似た者同士

こす 擦る

木製のボディ(胴)に弦を張り、弓で擦る。それらを擦弦楽器と呼ぶ。

「ヴァイオリン」に似た名称が可愛い



ヴィオラ・ダ・ガンバ viola da gamba

ルネサンスからバロック時代に使われていた弦楽器。バッハの作品のなかにはこの楽器のためのソナタなどもある。ヨーロッパでヴィオール属と呼ばれる弦楽器の仲間、ガンバは「脚」を意味している。単純に訳せば「脚のヴィオラ」となり、ボディの両側を脚で挟んで演奏するスタイルだ。18世紀にはヴァイオリン属のチェロが取って換わることになるが、現在でもバッハの時代の作品などを演奏する場合に欠かせない楽器である。弓の持ち方もチェロとは違い、弦の数も6本の場合が多い。音程も4度で調弦する。中世の宮廷で愛好された楽器として知られる。

ヴァイオリン属の民族楽器で、共鳴弦がある



ハルダンゲルフィドル(ハーディングフェーレ) hardingfele

外見はヴァイオリンにそっくりだけれど、その音を聴いてみるとびっくり。普通の「弦」の音のほかに、微かに金属が擦れているような音が聴こえて来る。北欧の民族音楽で使われるハルダンゲルフィドルには、実は共鳴弦というものが使われていて、それはボディの中に仕込んである。外側に張ってある弦を弓で擦ると、その音がボディの中に伝わり、内部に張ってある金属製の弦が共鳴するという仕組みなのである。おそらくは、屋外で演奏するために、より音を大きくしたいというところから生まれたと考えられる。共鳴する弦を調弦するのがとても大変だと言う。

中国から入って来たが、日本では独自に発展



胡弓(日本) kokyu

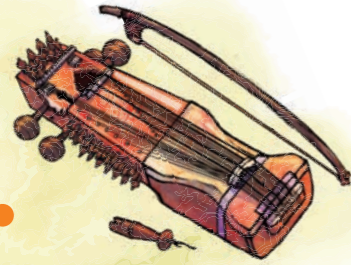
富山県富山市の八尾地区で開かれる「おわら風の盆」は毎年9月1～3日まで開催されるお祭りで、江戸時代から続く。そのメインイベントは踊りなのだが、町中で夜を徹して踊り続けられ、その踊りの伴奏を三味線と胡弓が担当していることで有名だ。その胡弓は、いわゆる中国などの胡弓(例えば二胡)などとは違い、ボディは三味線に似て四角形で、弓もかなり大きなものを使っている。歌舞伎の「阿古屋」という演目でこの楽器が使われる事でも知られているが、そこで使われている胡弓は3弦で、日本では三味線のように3弦の胡弓が主流となっている。

二胡の仲間だが、共鳴胴が板張りの擦弦楽器

板胡(中国) banko

アジア大陸には様々な擦弦楽器が存在しているが、その中で最も有名なものは中国の「二胡」だろう。細く縦長の棹に2本の弦を張り、それを弓で弾く。このスタイルの楽器には様々な大きさのものがあるが、共鳴するボディ(胴)が違うものも多い。その中で、特徴的な音を出すのが「板胡」である。その名の通り、板を張って、それを共鳴させて音を出す(二胡などはニシキヘビの皮を使う)。中国北西部の陝西省の音楽で使われる事が多く、その地方の伝統的演劇である「秦腔」には欠かせない楽器である。2弦のほかに4弦の板胡もある。

インドの民族音楽で使われ、共鳴弦を持つ



サーランギー(インド) Sarangi

主にインドで使われる擦弦楽器で、もともとは北インドのイスラム王朝のなかで発展した「ヒンドウスターニー音楽」と呼ばれるジャンルの主要な楽器として活躍する。長方形のボディは1本の木から削って作る事が多く、そこに40本もの弦を張るが、実際に演奏に使われる弦は3本で、その他は共鳴弦だと言う。旋律を弾く弦は動物の腸から作られ、共鳴弦は金属であることが多いようだ。弓は黒檀で作られ、そこに馬の毛を張る。弦を爪で抑えるので、演奏はかなり難しいらしい。また共鳴弦の数が多いので、それを調弦するのも大変。ネパールにも同種の楽器がある。

ヴァイオリン属の祖先とも呼ばれる擦弦楽器

ケマンチェ(イラン) kemanche

主にイランで使われている擦弦楽器。特徴的なのは、そのボディ(胴)の形で、だいたい梨をふたつに縦割したような丸形、あるいはひょうたん型をしている。これがトルコなどに伝わりラパーブという楽器になり、それがさらにヨーロッパに伝わってレベックという弦楽器となり、それがヴァイオリンの原型になったとも言われている。ケマンチェの語源は「弓」であり、つまり弓を使って演奏する楽器を総称していたが、それぞれの国、民族で独自の発展をとげた。現在のイランで演奏されている楽器だけを「ケマンチェ」と呼ぶ場合もある。

賢治の「セロ弾きのゴーシュ」が教えてくれた「音楽の楽しみ方」

コラム

宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」は小学生時代に何度も読んだ作品だったが、そこに登場する金星音楽団の楽長はゴーシュに向かって、いつも「イトが合わない!」と厳しく叱る。弦楽器を習った経験のある方には、その意味が分かっていただけたらだろうか。

「ゴーシュは「セロ弾き」で、作者の賢治自身もチェロを習っていた経験があり、またクラシック音楽を愛好していた。そこからこの「童話」が生まれたのだが、下手は下手なりに努力していけば、いつかはきつと情感豊かな音楽が演奏できるようになる、という「教訓」だけではなく、動物たちとの心の交流、無意識の交流がいつしかゴーシュを一人前の演奏家に育てて行くところ、賢治らしい心情が溢れていると感じていた。楽器を演奏するという事は、単に技術を獲得して、上手くなることだけが目的ではない。その楽器を通して、心と心の交流をすることが大事なのだ、いつまでもヴァイオリンが上達しない私は勝手に解釈していたのだ。

それは別に楽器に限らず、歌でも同じはず。音楽を演奏するという事は、言葉を超えた心の交流をすること、そうした気持ちや育むことだと信じている、それがたとえ、どんな時代であつたとしても。



ミュンヘン国際音楽コンクール 弦楽四重奏部門

難関コンクールでまた日本人が活躍

世界的に有名なミュンヘン国際音楽コンクール。近年は日本人の活躍が続くが、今年も日本の弦楽四重奏が好演を続け2位を受賞した。現地に飛んだ筆者がコンクールの様子をレポート。

河井拓（大阪国際室内楽コンクール&フェスタ総合プロデューサー）

クラシック音楽界の オリンピック!? 世界が注目する音楽コンクール

盛夏を過ぎて秋の足音が聞こえてくるドイツ南部の文化都市ミュンヘン。翌月に開催されるオクトーバーフェスト（いまや日本でも人気の世界最大級のビール祭り）の準備に忙しい9月のこの街で、ミュンヘン国際音楽コンクールが開催された。実はこの正式名称はARD国際音楽コンクールと言って、ARDは9つの放送局から成るドイツ公共放送連盟のこと。各放送局はプロのオーケストラや合唱団などを運営し、ドイツの文化発信の一翼を担っている。

1952年に始まったコンクールは、毎回部門を変えながら毎年4部門程を開催している。その種類たるやオーケストラで使用される主な楽器、各種室内楽など、これまでに開催されたのは28部門とコンクールの百貨店のような様相だ（流石に当初あった「初見演奏」などは行っており、現在は約20部門）。ドイツ音楽家が「入

賞はオリンピックメダルに値する」と表現するように、世界の最重要コンクールの一つとして名声が確立されており、近年では葵トリオ（2018年ピアノ三重奏）、佐藤晴真（2019年チェロ）、岡本誠司（2021年ヴァイオリン）と日本人の優勝が続いている。このコンクールで入賞すればヨーロッパでのコンサートツアーや各放送局オーケストラとの協奏曲のコンサートがあるが、オケ側としても優秀な演奏者（将来の楽団員？）を発見できる機会となる、とても合理的なシステムが成り立っているのである。

2022年はピアノ、フルート、トロンボーンに加えて弦楽四重奏の部門が開催された（コロナ禍で中止になった2020年の延期部門）。ARDコンクールは難関コンクールとしても知られ、演奏水準が満たなければ1位を出さない事でも有名だ。実際に弦楽四重奏部門は過去に14回開催されているが、そのうち1位は7団体しか受賞していない（輝かしい活躍を続けた東京Qが1970年に1位になった以降は、



ミュンヘン音楽・演劇大学（1次ラウンド、2次ラウンド会場）



プリンツレーゲンテンシアター（セミファイナル、ファイナル会場）

5回分25年間も1位無しが続いた！。今回は延期開催という事情もあり、北米最大の室内楽コンクール「パンフ国際弦楽四重奏コンクール」と開催期間が重なってしまったが、世界中から17団体がミュンヘンに集った。

他の国際室内楽コンクールは参加団体が10団体程度なので、ミュンヘンコンクールに参加できる団体は意外と多い。

日本からは3団体が参加。 室内楽のレベル向上を実感。

今回の参加団体の大きな特徴として、アジア国籍のみの団体が7団体も参加していたことだろう（他の国々との混成団体

も2団体）。しかもその内の3団体は日本からの参加だ。これまでの国際室内楽コンクールに比較して、アジア地域からの参加が顕著に多く感じる。2000年代以降、メジャーな国際室内楽コンクールでアジア人団体による入賞が見られるようになり、アジア地域でも室内楽指導に熱が入ってきた成果が表れていることが伺える。日本でも、解散した東京Qメンバーが音楽大学やサントリーホールなどで室内楽指導に力を入れ、その水準が国際コンクールに挑戦できるレベルに達してきたというところだろう。

審査委員には元東京Q、元アルテミスQ、カザルスQ、クスQなど室内楽の第一線で活躍する演奏家が並び、その中に大阪のコンクールで優勝したドリックQ（ジョン・マイヤースコウ、チェロ）とベネヴィッツQ（イジー・ピンカス、ヴィオラ）のメンバーも入っているのは喜ばしい。

1次ラウンドはハイドンやベートーヴェン初期の古典作品と、いわゆる近代作品群の2曲が課題曲。最近では近代作品課題曲に、ラヴェルやドビュッシーが含まれることが増えてきた。結果的にコンサートなどでも演奏頻度の高い、この両曲を選択する団体が多かったように感じる。

このコンクールの進行は元からシンプルだったが、感染症が理由なのか「審査結果はウェブサイトで発表」と簡素なアナウンスを残し、関係者も会場を後にする。スマートフォンを片手に待っていた結果は、10団体が2次ラウンドに選出された。

2次ラウンドはロマン派と20世紀後半作品群の2曲を演奏。なぜか選曲がリゲティに集中し、客席が不思議な程リゲティ



1位のバービカン・クアルテット

の弦楽四重奏曲に詳しくなったように感じたラウンドを通過したのは7団体。

セミファイナルはモーツァルトのハイドンセット以降、ウーエルン、そして委嘱作曲家ドブリンカ・タバコヴァの新作の3曲を演奏。きわめてハイレベルな演奏が続けられる中、ファイナルに進んだのはロンドンのバービカンQ、ウィーンのカオスQ、そして日本のインテグラQだった（筆者はここで、日本で開催するアタックQ公演のため帰国）。

ベートーヴェン中期以降、又はシューベルト後期と、バルトークの2曲という弦楽四重奏の王道を課題とするファイナルの演奏の結果、1位バービカンQ、2位インテグラQ（+聴衆賞）、3位カオスQという結果に終わった。

日本勢は クアルテット・インテグラが 2位及び聴衆賞を受賞！

日本のインテグラQは僅かに1位には届かなかったが、彼らの極めて洗練された演奏を全てミュンヘンで披露出来たことは、極めて貴重な経験になったことだろう。インテグラは今年から米コルバーン・スクールの留学も始まっており、今後の活躍が大いに期待できる。

これから季節は移り変わり、寒い冬を越したら次は大阪国際室内楽コンクールが待っている。ミュンヘンで満足いく結果を残せなかった団体は、冬の間にも更なる研鑽を重ね、是非とも大阪の地で熱演を披露してほしい。



2位のクアルテット・インテグラ



© Daniel Delang

© Daniel Delang

2022(令和4)年度 第1回理事会

開催：2022年6月9日(木) ホテルニューオータニ大阪
承認事項：①2021(令和3)年度事業報告書及び決算報告書
②2022(令和4)年度定時評議員会の招集と議題
③選考委員の選任
報告事項：①代表理事、業務執行理事選定

2022(令和4)年度 定時評議員会

開催：2022年6月27日(月) ホテルニューオータニ大阪
承認事項：①2021(令和3)年度事業報告書及び決算報告書
②評議員2名の選任
③理事・監事全員選任(改選期)
新任評議員：炭谷 正樹(西日本電信電話)
木村 太一(野村證券)
報告事項：①選考委員の承認



左記定時評議員会及び7月1日付2022(令和4)年度臨時理事会(定款第35条・決議の省略)において承認された理事・監事 ※は新任

- 会長 松本 正義(関西経済連合会・住友電気工業)
理事長 大橋 善光(読売テレビ放送)
常務理事 牧野 立太(日本室内楽振興財団)
理事 森崎 健志(大阪ガス)
※宮本 信之(関西電力)
山本 卓彦(サントリーホールディングス)
※藤田 良仁(住友生命保険)
芝 道雄(ダイキン工業)
四方 貞充(西日本旅客鉄道)
福田 里香(パナソニック ホールディングス)
※三村 竜太郎(読売新聞大阪本社)
菱田 義和(日本室内楽振興財団)
※藤門 浩之(日本室内楽振興財団)
音楽理事 堤 剛(チェリスト、サントリー芸術財団)
監事 ※中野 剛志(三井住友銀行)
吉田 満(読売テレビ放送)

2023(令和5)年度 助成金募集について

2023年度の助成金交付事業の募集は2022年10月31日(月)をもって締め切らせていただきます。申請されたものについては2023年1月に開催を予定している選考委員会で審議いたします。なお2024年度の助成金募集については2023年秋に実施する予定です。
お問い合わせ：公益財団法人 日本室内楽振興財団
電話：06-6947-2183 HP：http://www.jcmf.or.jp

公益財団法人 日本室内楽振興財団 支援企業

- | | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 大阪ガス株式会社
関西電力株式会社 | 住友生命保険相互会社
大樹生命保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社 | 川崎重工業株式会社
株式会社クボタ
ダイキン工業株式会社
日本製鉄株式会社
日立造船株式会社
三菱重工業株式会社 | 非破壊検査株式会社
大塚製薬株式会社
住友化学株式会社
積水化学工業株式会社
武田薬品工業株式会社
日本ペイント株式会社 | 株式会社JTB
株式会社電通
株式会社ニューオータニ
KDDI株式会社
西日本電信電話株式会社 |
| 住友電気工業株式会社
ソニーグループ株式会社
株式会社東芝
日本電気株式会社
パナソニック ホールディングス株式会社
株式会社日立製作所
富士通株式会社
ローム株式会社 | 野村證券株式会社
アサヒビール株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
東洋紡株式会社
株式会社ワコール | 株式会社日建設計
株式会社大林組
株式会社きんでん
株式会社鴻池組
清水建設株式会社
大成建設株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店 | 近畿日本鉄道株式会社
京阪電気鉄道株式会社
南海電気鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社 | 株式会社読売新聞大阪本社
株式会社読売新聞東京本社
日本テレビ放送網株式会社
読売テレビ放送株式会社
(関連業種別 五十音順) |
| 株式会社関西みらい銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社りそな銀行 | 伊藤忠商事株式会社
岩谷産業株式会社
株式会社千趣会
三菱商事株式会社 | | | |

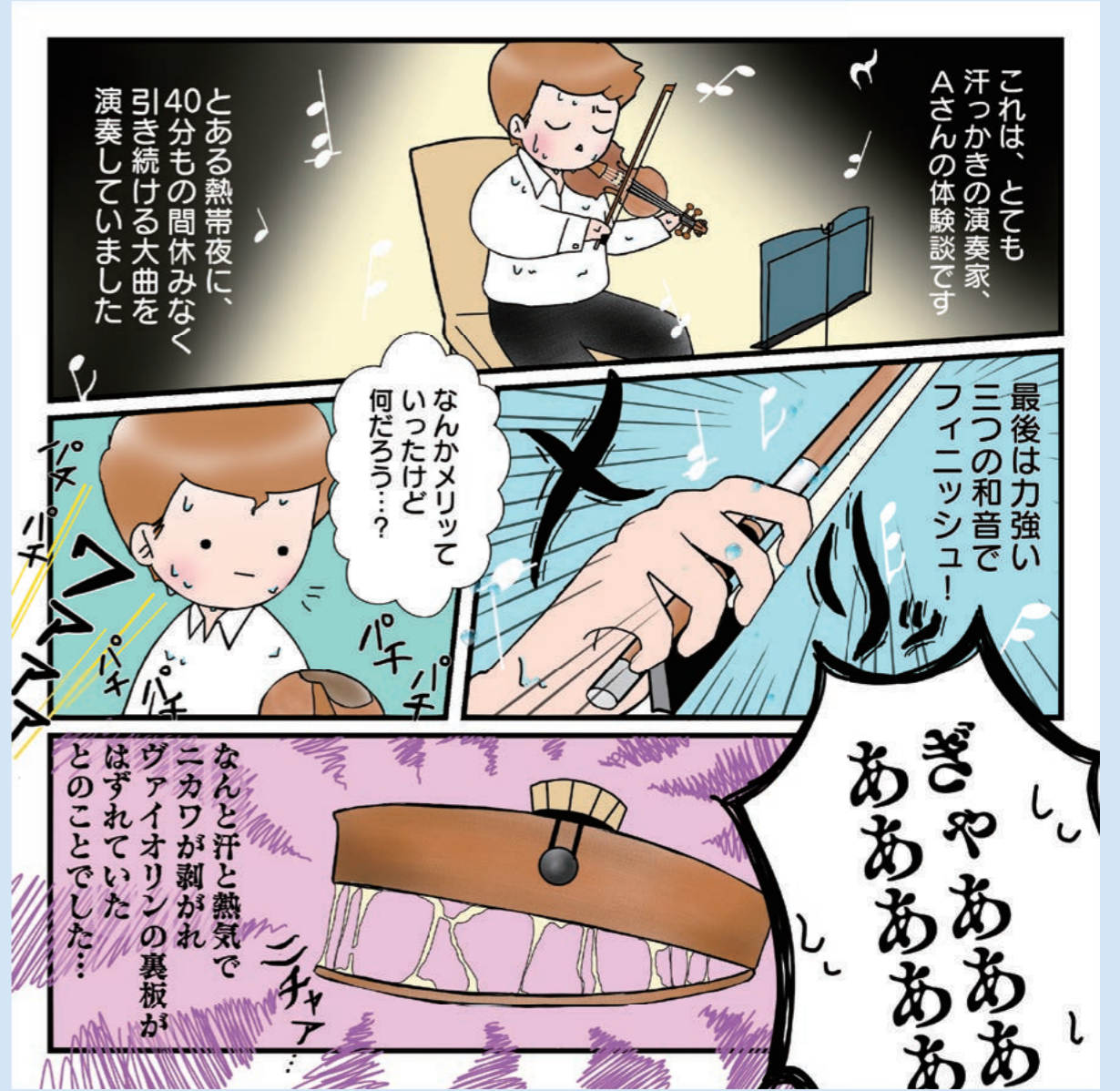
奏メンバーズ”募集!

お手元「奏」をはじめとした日本室内楽振興財団の情報が届く「奏メンバーズ」
募集中!登録・配送料は無料です。
お申し込みは、日本室内楽振興財団ウェブサイトから! <http://www.jcmf.or.jp>

夏の思い出〜アメリカの音楽祭

ケイコさんの活動するアメリカでは、オーケストラやホールレギュラーシーズンは、9月に始まり5月に終わります。6月半ば〜8月上旬は、音楽祭! その多くが避暑地で開催されています。だからクーラーがない会場も結構あるようで、こんなびっくりエピソードも…!

作・絵 徳永慶子



楽屋ばなし 自然豊かな音楽祭に集まるのは…?

ケイコさん、今年の夏は忙しかったみたいですね!
はい、ようやくアメリカはコロナ前のように音楽祭が戻ってきました!アメリカの音楽家の夏といえば、音楽祭! おお!アメリカは夏の音楽祭が盛んと聞きました!
多いときは、ひと夏で7か所くらい音楽祭を掛け持ちして飛び回ることもあったかな。
日本もそれくらい盛んならば良いのに。しかし避暑地で仕事かあ、ええな。
自然環境の良い所で、数多くの音楽家と寝食を共にして音楽に没頭するのは、とても得がたい経験です。
なるほど、音楽家同士で切磋琢磨する。そういうところが大事やなあ。
でも自然豊かな所だったら、虫とかいっぱい飛んできそうやけど…。
そうですね!この前も演奏中に蚊が飛んできて、成すすべく刺されました(笑)
演奏中は勘弁して欲しいね笑 他は何か飛んできたりした?
蛾とか、コウモリとか、カブトムシとかヒトとか…。
えっ?ヒト??
そうですね。周りに電灯が無いので、あかりでも集まってくる。
な、なるほど…。今度のコンサートは、お客に使うかな(汗)



とくながけいこ 徳永慶子
ヴァイオリニスト
元アタック・ quartet第2ヴァイオリンとして、2011年第7回大阪国際室内楽コンクール第1部門第1位受賞、2020年グラミー賞受賞。現在はソリストとして、ニューヨークを拠点に活動。ヴァイオリニストとしての体験を綴ったイラスト・コミックを自身のInstagramで公開している。
Instagram:@keikonomanga